



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

2018. 4.30発行
社会福祉法人
志摩会
第59号

福岡県糸島市志摩久家2527番地の2
TEL092-328-2121

E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp

<http://www.shimaen.or.jp>

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン
配食サービス

小規模多機能型居宅
介護

糸島市志摩地域包括
支援センター

地域貢献：オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・せいかつ志縁隊、・おでかけ志縁隊、
たまり場岐志・桜野・姫島茶所、おこもりカフェ岐志浜



おこもりカフェ皆様 “おでかけ” メニュー

ハウスの外では桜の開花も … サクラと桃花を
同時に楽しめる贅、
イトシマの人と自然に感謝

事前研修で少し環境 に慣れます(3/22～30)



長く寒い冬だったけれど庭の芽吹きはいつもより早いくらいです。万物の生々流転 …受け身だけではなく準備していたんですね。

人生百年時代に職業人として新たな第一歩を踏み出す皆さん、人生の航路図をお持ちでしょうか？ …志摩会では職員の皆さんが「なりたい自分」になるためのコンパスとして、キャリアパスシステムを改修中なので、入職後も視界良く、たとえ迷っても目的地に進めます。ありのままの志摩園を見て私たちを選んでくれたことに身が引き締まります。

4月2日 新卒職員等辞令交付

一文字抱負

再

趣味は野球観戦とバドミントン、好きなものはいちごと明太子です。“一日一笑”を心掛けています。先輩栄養士お二人から学んで成長していきたい。

栄養士五年目の**再**スタートを志摩園で出発できて光栄です。介護の知識も学びたいです。

(栄養士 中途採用)

水田



一文字抱負

助

人生で一番嬉しかったことは、セクシーゾーンのライブで視線があったり、指さしの“ファンサ”(ファンサービスのことらしいです)をしてもらったことです。

人は一人では生きていけないと思うし、**助**け合いや協力をするから快適に生きていけると思う

(介護職員 高校新卒)

松田



一文字抱負

誠

大阪生まれの糸島育ちです。趣味はルアーフィッシングとお酒。昔水球をやっていました。仕事は「誠実」、プライベートは“LET IT BE”がモットー。

誠実であること、人生のテーマです。自分がそう思っているだけではだめで相手に伝えること

(介護職員 専門学校新卒)

井手



一文字抱負

努

特技はピアノ、ダンス、バドミントン、体が柔らかい、ヘアアレンジ等です。パイナップルとステーキが大好きで尊敬する人は母です。

ご利用者に美味しい食事を提供できるように誰よりも**努**力し、早く慣れたいです

(調理員 高校新卒)

工藤



一文字抱負

優

柔道初段、バレーも8年間、筋力と元氣は自信あり。す〇家の牛井はいつもキングサイズを注文します。ぼくの人生を支えてくれた父、成長を見守ってくれた祖父をリスペクト。

ご利用者にも**優**しく、笑顔で対応して喜んでもらえるよう、がんばります

(介護職員 高校新卒)

吉村



覆面座談会

ケアマナ、社会福祉士としての
2連敗！来年は捲土重来を！

来年もチャレンジします

僕たちの
失敗！

普段現場でして
いる出題は分か
りましたが制度
や疾病が難しい

一年かけて少しづ
つ勉強しないとい
うと。

勉強開始が遅すぎ
ました

介護福祉士として沢山
の事に取り組みたいです

もう少し、勉強を頑張
ればよかった



失敗は成功の“マザー”

来年は資格取得者
紹介でこのコーナ
ーを全部埋めてほ
しいなア：



資格取得
おめでとう

介護
福祉士



楠本
特養 生活相談員

コツコツ勉強は性に合わない
ので数日間の超短期集中で
取り組みました。
筆記試験よりも実務者研修
や課題提出が大変でした。
焼肉慰労会楽しみでーす。

働きながらなので、空いた
時間にコツコツ勉強しまし
た。過去問題を解いた方が
効率はいいかもしれません。
資格取得で満足しないで、
更に学んで、精進します。



長嶺
特養 介護職員



薦田
特養 介護職員

仕事・家庭・勉強の両立が
大変で時間に追われました
が、諦めず挑戦して良かった
です。小さなカイロのような
存在の子供達とスタッフの応
援が大きな力となりました。

平成30年度第1回 志摩園入所検討会議

★要介護度別志摩園(定員130名)入所申込者の推移

(平成30年4月23日開催)

	H26.10.1	➡	H27.10.1	H28.4.1	H28.10.1	H29.4.1	H29.10.1	H30.4.1 (名)
要介護5	27	制度改定	17	19	25	21	26	22
要介護4	43		32	39	36	44	46	35
要介護3	48		59	56	51	63	60	45
要介護2	49		22	27	20	17	19	16
要介護1	52		14	14	9	5	2	7
計	219		144	155	141	150	153	125

入所待機場所別介護度(H30.4.1現在)

	在宅	医療機関	老健	特養	G・H	有料	養護	その他
要介護5	3	10	5	1	3	0	0	0
要介護4	11	5	16	1	0	2	0	0
要介護3	18	4	15	1	2	3	0	2
要介護2	8	1	6	0	1	0	0	0
要介護1	4	0	3	0	0	0	0	0
計	44	20	45	3	6	5	0	2

法人全体の 事業方針

2018（平成30）年度は1期3年の中期経営計画の中間年度になります。基本は昨年初年度の事業を引継ぐかたちですが、特に新しい人事考課制度が試験運用から本格化する重要な節目の一年に当たります。

成果は人が育つ職場、人が集まる組織、人が活躍する環境をつくることです。

主要セグメント H30年度 事業実施の基本的考え方

特別養護老人ホーム

地域包括支援センターと適切に連携し、糸島市の地域包括ケアにおいて、志摩圏域で地域連携、地域の拠点に特養が機能することを目指していく。そのため、24時間、365日のサービス提供かつ、専門的人材が結集する特養は本法人の淵源として、ご利用者、職員にとってもこれまで以上に信頼される存在にならなければならない。

- ・ リスクマネジメント部門の新設など法人全体の組織改革に合わせ、特養内の各部門及び配置職員が組織運営の中核機能を果たす責任を持つため、引続き人材の育成
- ・ 看取り介護の更なる充実、認知症ケアの強化、重度化への対応、自立支援介護と自分らしくある入所生活の同時追求
- ・ 前年度から持ち越した青海館の浴室、共用トイレ、男女職員休憩室の増設、松風館に入園者用食堂、リビングの新設工事

地域における公益的な活動

社会福祉法人に普段の社会福祉事業、公益事業の中で公益的な取り組みの実施が義務付けられたが、本会はそれ以前から様々な社会貢献活動を実践してきた。これからも社会福祉法人という役割を自覚し、本法人単独にこだわらず、他の社会資源と連携しながら、メニューの拡大、スクラップアンドビルドを繰返し、積極的に、継続的に地域貢献に取り組む。

1 社会福祉事業 > 自己財源による社会福祉事業の実施

- ①ふくおかライフレスキュー事業
- ②社会福祉法人軽減、利用者負担軽減

2 公益事業 > 定款記載の公益事業のなかでも自己財源による事業

- ①配食サービス：生計困難者に低額な料金によるサービスを実施

3 公益事業 > 地域福祉、社会福祉の向上に向けた活動

- ①ボランティア、福祉人材の育成（実習生の受入、福祉人材の育成）
- ②げんき志縁隊：志摩地区のふれあいいきいきサロンの活動支援
- ③オレンジ志縁隊：小・中学校、一般、職域等で認知症サポーター養成講座の開催
- ④せいかつ志縁隊：配食サービスご利用者のモニタリング、調整等
- ⑤まつり志縁隊：地域の祭りや季節イベントに出店協力や運営手伝い
- ⑥おでかけ志縁隊：公民館行事等の参加者の送迎
- ⑦たまり場：社会参加の機会確保、フレイル予防、各種生活情報の提供と相談受理等





(続き)

- ⑧炊き出し： 地域ケアこりん神在前庭で毎月1回開催
- ⑨おこもりカフェ岐志浜： 地域カフェとして月2回開催
- ⑩自主運行バス： 志摩地区の複数の社会福祉法人が運転手、乗降補助者として協力

4 ノウハウや経験・専門人材や施設・設備を活用した取組み

- ①会議室の開放
- ②福祉避難所に関する協定締結

5 その他の取組み

- ①環境美化：市内老施協会員施設が各小学校区内で清掃及び下校時小学生の見守り活動
- ②地域のつながりを意識した夏祭り(特養、こりん神在)、地域交流事業(さなぼり交流会、収穫祭(小規模多機能))
- ③地域各団体等への機器の貸出

地域ケアこりん神在



イチゴジャム
を作りました

ショートステイ

食堂・機能訓練空間の拡大

トイレの2室増設

2単位目を稼働するにあたり、設備面の一層の機能向上が課題として認識されました。

1単位が定員12名なので、理論上一日当たり24名までご利用者をお迎えできます。平成29、30年度の2ヶ年にまたがる改修です。



高齢者サービスのご利用者がサービス利用中でも社会貢献に参加できるような仕組みも今、考えています。

建物改修情報

個室が4室増えました

特別養護老人ホーム志摩園 1 階にショートステイ居室があります。専用居室の定員は 16 名で、うち個室が 10 室、2 人居室が 3 室(6 名)でした。今年 2 月に 2 人居室 2 室の個室改修を行い、専用居室の定員 16 名は変わらず、個室が 14 室、2 人居室 1 室になりました。



インフルエンザ発症時の対応や男女別の居室調整が融通しやすくなるため、ご利用申込時の利便性が向上します。また、この4月からは、個室と2人居室の基本料金は同じになりました。



OPEN

おこもりカフェ岐志浜

おこもりカフェ岐志浜は、向こう3ヶ月ごとの“週替り”メニューを用意して皆様のご来店をお待ちしています

冬から春へと季節が分かれまして。春はあらためて年の始まり。今年も内に外にと活動を仕込んでいます

第55回 (2/3) 節分豆まき 福茶で縁起担ぎ



おこもりで豆まきと福茶で暖まり、続くゲームでも笑顔で一杯、福来たる！

第56回 (2/17) あったかマフラーづくり



皆さん一様に針の糸通しに苦勞されましたが、仕立ての手さばきは見事です。久留米大学の濱崎先生方が視察に。



第57回 (3/3) 桃の節句にて...



カルタの前に体慣らしの体操を、後は甘酒とさくら餅で栄養補給。家の光編集部記者様の取材も。

第59回 (4/7) ボランティアG 絆様



紙芝居「おけやのてんのぼり」、文字当てゲームで頭の体操もできスツキリ

第60回 (4/21) クラブ 懐メロ おやつは手作り きなこだんご



美空ひばり、村田英雄、大川栄作など、昭和歌謡は大層胸にグッときます

第58回 (3/17) 天気にも恵まれて 桃の花見



花びらを透過した日光で皆さんピンクに染まります

連載
企画

いろんな職種から見た 介護の仕事

(第16回)

職員いれー



志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

高齢者介護に関り 37 年。人の気持ちに寄り添う大切さは変わらないと思います



中村

(特養 介護福祉士)

も可愛がってもらいました。そんな友人達が羨ましかったです。母の一人暮らしの叔父が介護が必要になり、母と共に中高生だった私も入院先で食事等の手伝いをし、別れも経験しました。私がこの仕事を選んだのは、これらのエピソードが基盤になっている気がします。

◆7年前職場の定期健診で大病が見つかり、手術をして完治

まであと少しという5年目に再発しました。疾病をもちながら仕事を続けていますという意味の“私はながら族です”というCMがありますが私もそのひとりです。

◆仕事が続けられるのは副作用が少なかったこともありすが、なにより職場の皆様の暖かい受入があるからで感謝の気持ちで一杯です。

◆在職12年目です。子供の頃は、祖父母のいる友人が沢山いて、遊びに行くと私もいつ

介護と医療の両面から考える看護をめざしてがんばります



原

(特養 看護職員)

れまで福祉の現場で経験してきたことに活かしたいと考え、年甲斐もなく、看護師を目指しました。

◆働きながらの学生生活はとても大変でしたが、新しい仲間も増え、少し自分が成長できたかな？と思えることもあり、今思えば決断してよかったです。看護師として、まだまだ新人なので先輩や他職種の方々に助けて頂きながら、

のびのび働いています。

◆私の楽しみは、テニスとジャザサイズです。ジャザサイズとは、曲に合わせて楽しく踊るダンスフィットネスです。先生の動きについていくのがやっとなで、かなりカロリーを消費します！仲間と一緒に汗をかい一寸痩せるかと期待しましたが食欲増進中につき…。でもストレス解消に良いので続けます。

◆入職3年目になります。元は別の施設で介護職員としてスタートしましたが、もっと医療の知識と技術を学び、そ

今後の目標は介護福祉士。実戦で経験を重ね頑張っていきたいです



神崎

(特養 介護職員)

修の職業訓練を受講し、実習先が志摩園でした。志摩園の印象は職員が笑顔で明るく、挨拶もきちんとされており、施設も明るく広くて掃除が行き届いていると感じました。

◆初めてでも、ここでならきちんと指導してもらえ、やっていけるのではないと思い職業訓練終了後、就職しました。

◆今までのオフィスワークで

したので、介護の仕事に不安もありましたが、先輩方が優しく丁寧に指導して下さり、不安な事があっても相談しやすい環境があって、働き始めて1年以上が経ちましたが今も仕事を続けることができています。1年目から、認知症研修などにも参加させて頂いています。

◆趣味は海外1人旅とサッカー観戦です(エピソードは続次号)。

◆父が倒れた事がきっかけで糸島に戻ってきました。このこともあり、介護の仕事に興味を持ち、ハローワークで初任者研

今年も職員歓迎会
が催行できました



Info

四月二十日

賑やかな時間を共有



子供達も
大歓迎！



資格取得者のお祝い
にユニコーンも登場

百三賀おめでとうございます



志摩園最高齢の森様

当日はご家族も百賀の会に参加して下さり、有難うございました。



今日はどうもあ
りがとうござい
ましたとご本人
からもしっかり
御礼の言葉



【編集後記】 「自立支援介護」が今回の報酬改定で注目される以前から、介護施設ならば取組んで当たり前だろうと信じていました。だから数年前、職員にその研修に参加してもらい、特別養護老人ホーム志摩園で活動をはじめました。だけどもういけませんでした。それが今回の制度改革で様々な意見はありますが、全ての事業所に求められるスキルになったのです。

このタイミングで志摩園での自立支援介護を再び、職員に提案したのは、そんな苦い経験がありながら、自立支援ができる特養になることは大きな目標だからです。日頃疑問だったのが、職員はなぜ、自立支援介護に消極的なのか、実現できれば入園者の生活の質はもちろん、職員も仕事の質が上がり、楽になるのになぜ？ —— 話合ってみると、運動にしろ、水分摂取にしろ入園者に無理強いをしていたのではないかと、再び研修に参加して他の職員にもそのような思いをさせたくないという気持ちがあったからと答えてくれました。過去の研修は一期一年でその間の課題は相当にハードなものでした。一年勉強しただけで「自立支援介護」ができる施設になれるとは毛頭考えておりませんでした。研修中は宿題を片付けることだけで精一杯なのは仕方なく、二年目から自分たちのペースでやっていけばよいと思いました。

先達の皆様が、およそ人力で達成してきた苦勞に比べれば、これからはいろいろな先進技術も使って効率的に実現できるかもしれません。何より、志摩園で昨年からはじめた様々な研修で、制度や経営的視点で幅広く、多角的に自分の仕事、職場を考えられるようになったと感じます。以前にも増して、職員からアイデアや意見が出てき始めたことはとても心強いところです。

まだ時間はあります。自立支援介護の押し売りはしませんが、オムツではなくトイレで用を済ましたいと希望されたら、それにどう応えるか。意識と行動の変革が必要になりました。



(A・K)